



呼吸器外科新体制の紹介

呼吸器外科の宮内善広と申します。今回前任者の定年退職に伴い、本年4月より宮内、大貴が着任し、以前より継続して診療に当たる木村と共に3人体制となりました。災害医療センター呼吸器外科は、当センターの名誉院長で日本の呼吸器外科で黎明期よりご活躍される荒井他嘉司先生、その流れを汲む前任の森田敬知先生らのご尽力により支えられ発展してまいりました。当科は肺癌その他の疾患に対して、全国的に胸腔鏡補助手術が主流を占める中、早くから完全胸腔鏡下手術に取り組み成功を収めてまいりました。今回新体制とはなりますが、比較的早期の肺癌その他の疾患を対象として、これまでと同様に完全胸腔鏡下手術に真摯に取り組みつつ、進行癌に対しては肺を温存する気管支肺血管形成などを駆使して患者さんの利益に即した外科診療に心がけてまいります。身にあまる重責ではありますが一意専心、西東京地域医療のさらなる充実と発展に全力を尽くし、諸先生方のご期待に添うよう努力いたす所存です。これまでと同様、胸部外科疾患で私どもが先生方のお力になれることがありましたら、いつでもお気軽にご連絡いただければ幸いです。

つきましては何卒、前任者同様格別のご指導ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。まずは略儀ながら書中をもって着任のご挨拶を申し上げます。



呼吸器外科
宮内 善広



開胸手術の様子

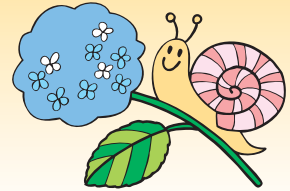


胸腔鏡下肺葉切除を行った方の創部の一例



呼吸器外科新体制メンバー
左から大貴医師 宮内医長 木村医長

健診部の紹介



健診部長
正岡 博幸

健診部長の正岡です。当院は予定も救急も重症～難治例をも扱う高度急性期病院であり、最新の高額医療機器を整備してきました。これらの設備を有効利用して少しでも地域の皆さんにお役に立てたいということで健診事業を行ってまいりました。脳ドックなど、表のような様々な検診を行っておりますが、ご紹介もいただいて多くの方に受診していただいております。脳ドックが一番受診していただいておりますが、おかげさまで、先日検査件数が2,200件を超えましたので、日本脳ドック学会総会に未破裂脳動脈瘤の発見後の対応についてまとめて報告させていただきました。日本国中で、発症すると半数以上が不幸な転帰をたどるクモ膜下出血が減っているとのことで、ますます予防に役立つ脳ドックの必要性が高まっていると思われれます。その他、がん検診を各種行っております。日本人の半数が「がん」になる時代と言われ、がんは何よりも早期発見・早期治療が大切であり検診の重要性はますます高まっていると思われれます。異常が発見されました時には続けて治療を担当させていただきます。

かねてより、「気づかずにいる生活習慣病」を早期に発見して早期に治療を行うことが「予防医学」では最も重要で、そのため人間ドックや健診を行いたいと思っておりましたが、今年度より特定健診を始めさせていただきました。さらに項目を加えて人間ドックを近々、開始しようと思っております。すでに健診で肺の病変や糖尿病に気づかずにおられた方が見つかっており、健診の重要性を感じております。

今後も地域の皆さんが健康で満足のいく生活を送ることができるよう、病気の早期発見・早期治療に日々取り組んでまいりたいと思っております。患者様等へのご紹介をよろしく願います。



各種健診の紹介

<p>脳ドック</p>	<p>脳ドックは脳卒中の予防、脳腫瘍やアルツハイマー型認知症の早期発見などを目的とした健康診断です。当院の脳ドックは、磁気を利用したMRI検査と超音波検査を組み合わせるため、放射線の影響を一切受けることなく、脳や血管の細かな検査が出来ます。頭痛やめまい、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙など脳の病気と関係があるとされる病気をお持ちの方や、くも膜下出血の予防のためには一度受診されることをお勧めします。</p>
<p>胃がん検診</p>	<p>胃がんは日本人がかかるがんの1位です。胃がんの原因にピロリ菌が深く関わっていることが分かり、ピロリ菌の除菌ができるようになったので、胃がんは減少傾向にあります。それでも、胃がんは死亡率で第2位です。ピロリ除菌と、胃がんの早期発見は日本人にとって重要です。ピロリ菌の検査と共に、胃がん検診を受けてみませんか？</p>
<p>大腸がん検診</p>	<p>食生活の欧米化によって、大腸がんになる患者さんが男女とも年々増加しています。</p> <p>大腸がんはほぼ無症状のまま進行し、症状の出た頃には手が付けられなくなっていることが多いのです。</p> <p>その反面、症状の無い早期に発見できれば、ほぼ100%治療できるとも言われています。</p> <p>健康な将来のために、少し勇気を出して、検査を受けてみましょう。</p>
<p>肺がん検診</p>	<p>胸部X線写真で検出しにくい初期の肺がんも、CTを用いた肺がん検診では早期発見しやすくなります。通常のCTに比べて被ばく量の少ない低線量撮影を行っています。放射線科専門医、呼吸器科専門医の合議による判定を行い、異常があれば外来にて医師が結果を説明し、今後の診療方針の相談を行っています。</p>
<p>乳がん検診</p>	<p>現在日本人女性のがん罹患率は乳がんが1位です。乳がんは早期発見により適切な治療が行われると良好な経過が期待できますが、転移した状態で発見された場合は生存率が約70%低下します。20代からのセルフチェックに加えて40代を迎えたら乳がん検診を受けるようにしましょう。早期発見で命だけではなくご自身の乳房も守れることがあります。</p>
<p>骨粗しょう症ドック</p>	<p>積極的に骨粗しょう症検診を受けることは、自分で行える骨粗しょう症予防対策、転倒・骨折予防の第一歩となります。できれば、骨密度が低下する前の40歳代前半までに一度は測定し、若い頃の値を知っておくと、その後の骨密度の変化がわかり、対策をたて易くなります。</p> <p>骨粗しょう症の早期発見と早期治療を心がけていきましょう。</p>
<p>内臓脂肪量測定</p>	<p>内臓脂肪がたまり複数の生活習慣病を併せ持つ状態をメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）といいます。食生活の見直しと適度な運動をすることで内臓脂肪の蓄積を減らせることが知られていますが、現状を把握するためにも一度測定されてはいかがでしょうか。当院ではCT検査による正確な測定方法を実施しており、短時間で終わる検査でのご案内となっております。</p>

種類	内容	実施日	料金
脳ドック	●Aコース MRI、MRA、頸部超音波	月～金	脳ドックAコース： 32,400円
	●Bコース MRI、MRA	月～金、休日	脳ドックBコース： 25,920円
	オプション 結果説明（後日診察）	月・水・金 13：00～14：00	結果説明：5,000円 認知機能検査：4,000円
	認知機能検査	火・水 15：00～16：00	
胃がん検診	内視鏡検査	月～金 9：00～10：00	胃がん検診（胃カメラ）： 12,960円
	オプション		ピロリ菌検査：1,080円
	ピロリ菌検査（血液検査）		
大腸がん検診	内視鏡検査	月～金 13：30～14：30	大腸がん検診（大腸内視鏡）： 19,440円
肺がん検診	CT検査	月～金 17：00～	肺がん検診：7,560円
	CT検査+内臓脂肪量測定	月～金 17：00～	肺がん検診+内臓脂肪量測定： 10,800円
乳がん検診	超音波検査	月 13：00～ 木 14：30～	乳がん検診：5,400円
骨粗しょう症ドック	●Aコース 骨塩定量+X線検査+結果説明	月、水、木、金 15：00/15：30/16：00	骨粗しょう症ドック Aコース：6,480円 Bコース：4,320円
	●Bコース 骨塩定量		
内臓脂肪量測定	CT検査	月～金 17：00～	内臓脂肪測定：5,400円

※祝日は除く

お申し込み方法

- ★お電話にて希望日の1週間前までにお申し込み下さい。
- ★申込先 地域医療連携室 Tel：042-526-5613
- ★受付時間 平日 9：00～16：00

Information 1

夏休み 高校生のドクター体験!

参加無料
定員20名
(先着申込み順)

- 日時：平成27年8月5日（水）13：00～16：00
場所：外来棟3階 医療手技研修センター
内容：●院内見学
●手技体験
(手技一般、内視鏡、縫合、救命救急処置等)
●臨床医との懇親会

Information 2

肺がん患者・
家族交流会

～息を整え生き生き生活～

- 日時：平成27年7月31日（金）14：00～15：30
場所：外来棟4階 地域医療研修センター
内容：1. 肺がんと呼吸について
2. 手術による呼吸への影響
3. 呼吸リハビリテーション（呼吸法・排痰法）
4. がん相談支援センターの紹介
5. 患者さま・ご家族との交流

入場無料
定員30名

医療連携ニュース「かけはし」へのご意見ご感想をお待ちしております。ご連絡は地域医療連携室まで。



【地域医療連携室直通】担当：樋口早智子（ひぐちさちこ）
TEL：042-526-5613 FAX：042-526-5547
Eメール：renkei@tdmc.hosp.go.jp